

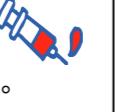
経皮的心筋焼灼術(4日コース)を受ける患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID:

患者氏名:

様

経過	入院日(経皮的心筋焼灼術前日)	経皮的心筋焼灼術当日(治療前)	経皮的心筋焼灼術当日(治療後)	3日目(治療後1病日)	4日目(退院日)
日付	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()
目標	治療の内容が理解でき、検査を受けることができる。	予定通りに治療が終了することができる。	合併症出現なく経過できる。	退院指導の内容がわかる。	
説明指導教育	<ul style="list-style-type: none"> ・医師より治療の説明を行います。 ・看護師が入院生活および治療の説明を行います。(説明後、承諾書を記入し、提出して下さい)(医師・看護師の説明でわからないこと、心配なことがあれば何でもお話し下さい) ・御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。 	<p>・治療中ご家族の方は東6B階病棟でお待ちください。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師から治療結果について説明があります。 ・治療した手首は、強く曲げたり、力を入れたり、こすったりしないで下さい。 ・足を曲げたり、起き上がりは医師の指示の元で行います。指示までベッド上安静臥床の状態となります。 ・患者さんが落ち着かれましたら、ご家族の方は帰宅可能となります。 		<ul style="list-style-type: none"> ・退院指導を行います。 ・医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。(治療直後に行うこともあります) ・退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きください。
治療処置	<ul style="list-style-type: none"> ・身長・体重を測ります。 ・体温・脈拍・血圧を測ります。 ・足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。 ・手首の動脈(正中・橈骨)の拍動を観察し印をつけます。 ・治療に必要な部位(橈骨または大腿)を必要時除毛します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。 ・尿道に管を入れます(女性) ・治療前に点滴を行なうことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴を継続します。 ・治療後、4回圧迫している空気を2mlずつ抜きます。 ・4回目の空気を抜いた2時間後に手首に巻いてあるバンドを外します。 ・点滴終了後、針は留置したままとします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。 ・治療翌日に採血と心電図レントゲンを行います。 ・症状がなければ留置針を抜去します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時、採血・胸部X線撮影・心電図、心臓超音波検査、四肢血圧脈波検査を行います 				
生活行動	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に制限はありません。 ・心電図モニターを装着します。退院時まで装着します。 	<p>・ベッドで1階のカテーテル検査室へ行きます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・治療後はベッド上で安静にして下さい。 ・治療後は、トイレまで歩くことができます。(足の付け根から行った場合は、6時間後になります) ・手首のバンドを外したら、自由に歩くことができます。 		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・毛を剃った後、入浴またはシャワー浴ができます。 			<ul style="list-style-type: none"> ・傷の状態に異常がなければ入浴できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・傷の状態に異常がなければ入浴できます。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・治療食となります。(カロリー・塩分制限) ・水分に制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午前治療は朝食が出ません。 ・午後治療は昼食が出ません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・治療後、吐き気がなければ飲水・食事をすることができます。 		
内服薬	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで飲んでいた薬を変更することがあります。 				<ul style="list-style-type: none"> ・退院時内服処方が必要に応じ出ることがあります。 
観察			<ul style="list-style-type: none"> ・カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。 ・止血用のバンドがきつすぎないか確認します。 ・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・治療の状況により、足の付け根の動脈からの治療になる可能性もあります。 		<ul style="list-style-type: none"> ・治療終了後、造影剤を早く排泄するために、水分(お茶・水)を多めにとりましょう。 		
備考					

注)予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。